

## 考取一个资格⑱

### “2 级锅炉技工” ⑱

所谓锅炉，简单地说就是加热冷水、烧制

热水及蒸汽的机械。它利用的是各产业在加热、杀菌等过程中的机械热源。其实人们对锅炉并不陌生，我们平时洗澡，靠的就是锅炉提供热水。而锅炉技工的工作，便是为这样的锅炉进行安全检查及安全管理。在医院、学校、



工厂及大楼等各种地方都有锅炉，因此，锅炉技工的所属单位，大都为物业管理公司。

锅炉技工资格，分为 2 级、1 级及特级三种，级别越高，所需要的专业知识及实际操作经验也就越多。2 级锅炉技工所触及的是以一般性制造设备、冷暖气设备及热水锅炉为热源的机械。找到 2 级锅炉技工的工作后，只要积累一定的经验，通过 1 级技工考试，这一资格就会得到社会的承认。

锅炉技工，其工作内容主要是对机械进行管理和检查，因此，这项工作的好处是给身体带来的负担不大，还有一旦拿到了资格，其后无需更新。也就是说，锅炉技工这一资格，一直到退休后都是有效的。

#### < 考试概要 >

无论有无学历及经验，只要参加由各都道府县劳动局局长指定的、20 个小时的锅炉技工实际技术讲习（2 天的专业课+1 天的实际演习共学习 3 天），就可以获得考试资格。此

## 資格を取ろう⑱

### 「2 級 ボイラー 技士」

ボイラーというのは簡単に言うと、水に熱を加えて、温水や蒸気を作る機械のことで、産業用として加熱、滅菌などをする機械の熱源として利用されています。私たちが身近なものでは、お風呂の給湯はボイラーを利用しています。このようなボイラーの点検や安全管理を行うのがボイラー技士です。病院や学校、工場、ビルなど様々なところにボイラーはありますが、ビル管理会社では働くケースが多いようです。

ボイラー技士の資格には 2 級、1 級、特級の 3 種類あり、級が進むにつれて多くの専門的知識と実務経験が求められます。2 級ボイラー技士は、ごく一般に設置されている製造設備あるいは冷暖房、給湯用のエネルギー源としてのボイラーを取り扱います。就職後、実務経験を積んで、1 級ボイラー技士に合格すれば、資格としてさらに評価されるでしょう。

ボイラー技士の資格は、機械の管理や点検が主な仕事のため、体への負担が軽く、一度資格を取ってしまえば、更新の必要がないのが魅力です。つまり、定年後にも利用できる資格ということです。

#### < 試験概要 >

都道府県労働局長が指定する 20 時間のボイラー実技講習（2 日間の学科+1 日間の実技演習の計 3 日間）を修了すれば、学歴や経験などに関係なく、受験資格が得られます。この実技講習は月に数回実施されて

实际技术讲习每月实施数次。

北海道、东北、关东、中部、近畿、中国四国及九州等地区，每月都分别实施 1、2 次锅炉技工考试。此考试仅考笔试，无实际操作考核。由于考试所实施的次数频繁，因此，应考者快速通过考核的可能性也比较大。

### < 考试内容 >

考试为选择题方式，考核内容涉及锅炉的构造及操作方面的知识；燃料及燃烧相关知识；有关锅炉的法令等。考试时间为 3 小时。

具体事宜，敬请浏览以下由安全卫生技术考核协会开设的网页。网页上还载有以往考题。

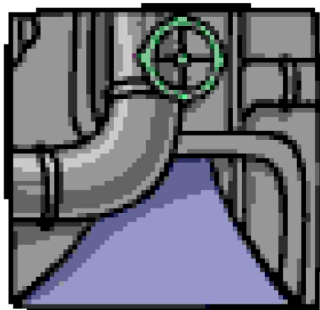
<http://www.exam.or.jp/>

### < 学习方法 >

2 级锅炉技工考试的试题，在一定程度上有着固定的倾向，因此，只要好好儿做以往试题，就很有可能通过。

所以，最好是反复地做以往试题，有没答对的地方，要看参考书将其弄懂。据说，只要将过去几年的试题及正确答案背下来，就不难通过这项考核。

现在要是有时间的话，不妨考一个锅炉技工资格，为将来铺一条路，您觉得如何呢？



(K)

います。

試験は、北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州それぞれの地域で月 1、2 回行われています。実技試験はなく、筆記試験のみとなっています。試験が頻繁に行われているので、早期に取得できる可能性があります。

### < 試験内容 >

試験はマークシート方式で、ボイラーの構造や取扱いに関する知識、燃料および燃焼に関する知識、ボイラーに関する法令について問われます。試験時間は 3 時間です。

詳しくは、以下の安全衛生技術試験協会のホームページをご覧ください。過去に出題された試験問題も公開されています。

<http://www.exam.or.jp/>

### < 学習の方法 >

2 級ボイラー技工士試験は、出題されるパターンがある程度決まっているので、過去に出題された問題をしっかり勉強すれば、合格することが可能です。過去問題を何度も解いて、間違えたところを参考書で確認して理解しましょう。数年分の問題と選択肢を覚えてしまえば、合格するのはそれほど難しくはないという意見もあります。

今、時間の余裕があったら、ボイラー技工士の資格を取り、将来への備えとするのもいいのではないのでしょうか。

(K)